



「憂コロナ」と「互助の精神」と「武者小路実篤」

福岡いのちの電話 理事

加藤 卓二

(西部ガスホールディングス株式会社 常務取締役)



コロナ禍が世界を覆い、日本においても2021年は夏前からの新型コロナウイルス第五波の猛威に翻弄され、依然終息には至らず難しい局面が続きました。この間、不要不急の外出自粛はもとより、老若男女を問わず、うがい、手指消毒、マスク着用が日常化するなど、社会・経済の乱高下感、そして閉塞感はただならぬものがありました。

また、2020年の自殺者は、20代、30代の若い層が増加した結果、全体でも21,000人を超え、11年ぶりの対前年増加に転じています。ここでもコロナ禍の影響や生活の変化などが、自殺者増要因の背景にあると言われてています。

そのような中での『福岡いのちの電話』が果たす役割もますます高まり、相談員の方の「受容、承認、共感コミュニケーション能力」への期待も増しています。自分の存在意義、存在価値を確かめるための電話に24時間、年中無休体制で対応し、多くの自殺願望者を思いとどめている成果は、この上なく重く尊く、心から敬意を払いたいと思います。年間13,000件を超える電話相談、インターネットによるメール相談など、相談の受け方は変化、多様化しても、一件一件の相談に真摯に向き合い、優しく寄り添う姿勢は不変のもので、その対応の素晴らしさを理事会報告を聞きながら実感しています。

「社会福祉法人福岡いのちの電話」の社会的使命、ひとりひとりの相談員の方の熱意により、「ひととひとが繋がり、ひととひとが支えあう」互助・共助社会実現に必ずつながると信じてやみません。みんなで「大丈夫」「心配しないで」「ありがとう」と言い合える社会実現の一翼を「福岡いのちの電話」は担っています。

最後に、武者小路実篤の『もう一息』という詩を私自身ここで確認し、締めくくりとしたいと思います。

もう一息

**もう一息と言う処でくたばっては
何事もものにならない**

もう一息

**それにうちかってもう一息
それにも打ち克って**

もう一息

もう一息

**もうだめだ
それをもう一息
勝利は大変だ
だがもう一息**





「憂コロナ」と「互助の精神」と「武者小路実篤」

福岡いのちの電話 理事

加藤 卓二

(西部ガスホールディングス株式会社 常務取締役)



コロナ禍が世界を覆い、日本においても2021年は夏前からの新型コロナウイルス第五波の猛威に翻弄され、依然終息には至らず難しい局面が続きました。この間、不要不急の外出自粛はもとより、老若男女を問わず、うがい、手指消毒、マスク着用が日常化するなど、社会・経済の乱高下感、そして閉塞感はただならぬものがありました。

また、2020年の自殺者は、20代、30代の若い層が増加した結果、全体でも21,000人を超え、11年ぶりの対前年増加に転じています。ここでもコロナ禍の影響や生活の変化などが、自殺者増要因の背景にあると言われていています。

そのような中での『福岡いのちの電話』が果たす役割もますます高まり、相談員の方の「受容、承認、共感コミュニケーション能力」への期待も増しています。自分の存在意義、存在価値を確かめるための電話に24時間、年中無休体制で対応し、多くの自殺願望者を思いとどめている成果は、この上なく重く尊く、心から敬意を払いたいと思います。年間13,000件を超える電話相談、インターネットによるメール相談など、相談の受け方は変化、多様化しても、一件一件の相談に真摯に向き合い、優しく寄り添う姿勢は不変のもので、その対応の素晴らしさを理事会報告を聞きながら実感しています。

「社会福祉法人福岡いのちの電話」の社会的使命、ひとりひとりの相談員の方の熱意により、「ひととひとが繋がり、ひととひとが支えあう」互助・共助社会実現に必ずつなぐと信じてやみません。みんなで「大丈夫」「心配しないで」「ありがとう」と言い合える社会実現の一翼を「福岡いのちの電話」は担っています。

最後に、武者小路実篤の『もう一息』という詩を私自身ここで確認し、締めくくりとしたいと思います。

もう一息

**もう一息と言う処でくたばっては
何事もものにならない**

もう一息

**それにうちかってもう一息
それにも打ち克って**

もう一息

もう一息

**もうだめだ
それをもう一息
勝利は大変だ
だがもう一息**



2021年度第2回 全体研修

心の病の対応を考える

川谷医院 医師 川谷 大治氏

10月9日(土)午後1時から、福岡市中央区のTKPガーデンシティ天神で、2021年度第2回全体研修を開催しました。川谷医院の院長で、福岡いのちの電話養成講座講師の川谷大治氏をお招きし、「心の病の対応」をテーマにお話をいただきました。その概要をご紹介します。

I. 心の不幸や病の原因

まず、心の不幸や病の原因について、「イマジナチオ」というキーワードが紹介された。我々は、他者と共有できない知覚によって想像される「心的世界(心の内)」と知覚によって確かめられ、他者と共有できる「外的世界(心の外)」という2つの世界を持っている。その他者と共有できない知覚による想像をスピノザはイマジナチオと名付け、「眼を開けてみる夢」とも言っている。人間には、イマジナチオを疑おうとしない態度がある。それは確信というよりは、ただ疑わないだけのものではあるが、それをスピノザは「共有信念」と言う。現実世界では虚偽でも、心の中では永遠に(真なるものとして)偽なる表象が持ち続けられていて、その「ないもの」を「あるもの」として受け入るとき、人間は自己の本性の欠点ではなく、むしろ長所として認めるとする。空想による遊びの世界や、オレオレ詐欺でだまされる過程を紹介されながらウィニコットが中間領域と呼ぶ、空想と現実の重なる存在を説明された。そして、スピノザやブッダの教えから、心の不幸や病の原因は、「決して所有しえない物に対する過度の愛」や「渴愛」にあると語られた。イマジナチオにおいてどのような姿勢・態度で傾聴するかについて氏は、相手を肯定も否定もしない、内と外の間を拾う方法を示された。

II. 精神分析の傾聴

感情移入(共感)以外の他の態度、例えば患者を教化しようとするような接し方をすれば治療は台無しになるというフロイトの言葉から氏は、「真剣な関心を示す」大切さを強調された。また、音声で電気信号に変換しつつ、そのまま伝える受話器の譬えから、自分流に聞いてはいけないとされた。ビオンの言う「無心のころ」では、常に初診の気持ちで聴くご自身の体験を基に、分かったふりをするよりも、あるいは、分かったふりして理解を歪めるよりも、分からないままに持ちこたえる方が有益である

と語られた。

また、治療者のできることは共感と理解であるが、患者の話に共感できないときは、それほど重症であると考えることとする、そしてわからないことを無理に分かろうとせず抱きかかえるというウィニコットの言葉にふれながら、自身の聴き方を紹介され、いのちの電話での傾聴では、病気の知識と、囚われない程度の常識の必要性にふれられた。

III. スピノザ的傾聴

他人の行為を見て、まるで自身が経験したように感じる感情の模倣について述べられたのち、憐憫の情や共感悲しみの情で、そのような情が起こることは人として当たり前のことではあるが、共感から手を差し伸べよう、救ってあげようと思わぬ失敗をするので、理性によって接しなさいとするスピノザ的傾聴を紹介された。

IV. 各論：妄想性障害、感情障害、神経症性障害

現実と空想のすり合わせを現実検討能力といい、それができないと妄想になる。妄想性障害の治療としては、その現実検討能力を育てていくことにある。その本質が不安である神経症性障害は、現実検討能力は障害されていないものの、現れた結果(症状)だけを意識して原因に心を寄せない特徴がある。その原因を探求するのが精神分析である。うつ病については、励ましてはいけない理由を感情の模倣から話をされた。双極性I型障害では、その原因の1つが完璧主義であること、そこにイマジナチオが関わってくること、また、うつ状態では抑制が特徴的であること、治療では不眠に気を付けていること、そして対話は未来ではなく過去の話がよいと話された。氏の専門のパーソナリティ障害については、思考に柔軟性が欠け、外的現実を主観的に受け取る葛藤を行動に移してしまう特徴について症例で詳しく説明された。白か黒か



が決められず葛藤するのは、白も黒もそして矛盾もあるという全体像が見えない特徴のため、逆に矛盾を抱えきれようになれば卒業という話をされた。拒食症の症例では、「私は太って醜い」という思いが固い信念となっていて、そこに「過度の愛」からくるイマジナチオが関わっている。いずれにしても病の原因を理解することが鍵であると説か

れた。自傷行為については、自罰的な傾向から自傷する特徴があり、自傷を繰り返す自分を叱る主治医との対立関係を作ってしまう。うつ病患者を励まさない関わりと同じように、叱らない関わりで治療は進むと話され、研修を締めくくられた。

第2回全体研修を受講して

第2回全体研修に参加しました。講師は、精神科医・養成講座講師の川谷大治先生です。研修テーマは、「心の病の対応を考える」で、とても関心があり、ワクワクして受講しました。先生はとてもお優しい穏やかな印象でした。「イマジナチオ」を始めとした難解用語が多いなあと思いましたが、内容は簡単に言うと次のようにわたし的に解釈しました。

- ・矛盾とか気分障害を受け入れられると寛解に繋がりがやすい。
- ・こだわりを捨てると良いらしい。

私自身、過去「うつ」で、交通事故後の右耳難聴や耳鳴りも有り、自己否定ばかりで死にたいと思っていました。

なぜ生まれてきたのか？ 生きる意味・価値ってなに？ 退院後も治らない。なんで？ なんで？ と自問して、現実を受け入れられずにいました。

一方、過去を振り返ると、尊大傲慢な自己中心者で完璧主義者、「ねばならない」や、「すべき」という思考の傾向、自己顕示とうぬぼれが強い等々、「執着」だらけで「感謝」とか一切なしでした。

その後、「どうしようもない現実をあるがままに受け入れる」（ま、良いか）、「執着から離れる」、「ありがたさに囲まれていることに気付く」（ありがとう）を少しずつ実践すると、苦しさが薄れて、生きやすくなってきました。

(I. K.)



私は、川谷先生の「心の病の対応」を受講して「風と共に去りぬ」のヴィヴィアン・リーを思い起こしました。ヴィヴィアンは、若さと情熱、類いまれな美貌、今回の講座で紹介されたイマジナチオ（偽りと真実を一致させる）などの長所を最大限に生かし、アカデミー主演女優賞を獲得します。その後、度々ヒステリーの発作に襲われ、心の病との壮絶な闘いのなか「欲望という名の電車」では、自らの病と一致する女性を演じ二度目のアカデミー主演女優賞を獲得します。

ヴィヴィアンは完璧主義者でした。手が大きいと悩み、シェイクスピア俳優である夫ローレンス・オリビエに及ばないこと、若さを失うことに怯え、常に不安を抱えていました。

私は今回の研修で、心の病の対応に限界を感じている自分を受け入れ、肯定し、心の整理ができました。それは自分の心をまず整え、心の病という疾病の概念を知り、

真剣な関心と無心な心で自らの不安を受け止め、分からないままでもその不安を持ちこたえ、共感より理性で対応し、感情の模倣を抑制することです。そして心の病の人たちへの憎しみを愛によって消滅させる、以上のことを実践したいと思います。心の病から自分を守り、脱却するには、過度の自己愛と自分の信念を打ち砕き、あるがままの自分を受け入れ、矛盾を抱えて生きる強さを持ちたいと思いました。

ヴィヴィアンを安心させたのは、自らの渴愛によって獲得した夫オリビエではなく、穏やかな愛ですべてを受け止めてくれた男性でした。私は、心の病は求める愛ではなく受け入れる愛によって対応することが、最も大切なことではないかと思っています。

(Y. M.)



コロナ禍に思う、人とのつながり

認定研修のスーパーバイザーとして、「福岡いのちの電話」にご縁を頂いてから、十数年になります。普段の仕事は、大学の教員です。コロナ禍のこの2年近く、大学も大きく変容を求められました。特に緊急事態宣言の期間、学生は学内に入構禁止となり、静まり返っているキャンパスでは、まるで廃墟に佇んでいるような錯覚にとらわれました。さらに社会全体でも不要不急の外出を控えるようになり、職場の同僚や友人とも直接会えないまま、いつの間にかコミュニケーションはメールやラインなど、文字メッセージが中心になっていました。もちろん授業や会議では、オンラインで会話する機会がありましたが、限られた枠内で仕事上の情報を伝え合うことが目的です。そんな風に社会との接点が切り取られたような日々が続く中、ある日、取り立てて用事があったわけでもないのに、あえて友人に電話をかけたことがあります。そして電話に出た相手の声が聞こえた瞬間、私が求めていたのは、「ああ、この感じ」と心でつぶやいたのを覚えています。それは、今この同じ時間を共にしている相手がいるという確かな実感でした。また互いに近況を伝え合うことばの響きが心にまで届くようで癒されていく自分にも気づきました。私が飢えていたのは、こうした心を通わせる人とのつながりだったのです。

ひとしきり友人と話をした後、携帯電話をしまいながら、ふと「いのちの電話」の相談員の方々が、電話の向こうから届く声に耳を傾けておられる姿を思い浮かべました。電話をかけてこられる通話者の背景はさまざま、語られる内容もそれぞれに異なっています。しかしその多くに共通することとして、心にとらわれている問題を一人で抱えることの困難さを感じておられるようです。スーパービジョンで出会う事例の中には、深刻な状況でこちらが胸が痛むケースや、やりきれない思いを一方向的に話される方もいらっしゃいます。また現状を変えたいと願い、その方法を問うてくる方もおられます。しかしそれらのほとんどは、すぐに改善される事柄ではないと思います。それでも電話をかけてこられるのは、解決よりもまずは自分の話を誰かに聴いてもらいたいと願うからでしょう。相談員の方々の声を耳にすることで、通話者は「今、ここで」つながることができている相手の確かな手応えが得られます。人は社会的な存在として、誰かに認められたいという本質的な欲求をもち、つながりあうことで心の安定を得るものです。その期待に応えるべく、自らのお仕事や家事の時間を調整して、「いのちの電話」に足を運んでくださる相談員の方々の存在が、本当にありがたいなとしみじみ思うこの頃です。

オリジナル「支援自販機」を設置していただきありがとうございます。



西部ガス都市開発株式会社様のご支援により、
フィットネス「ファンサンテ飯倉店」
(福岡市城南区飯倉1-4-34)
の駐車場に「支援自販機」を設置して
いただきました。



コロナ禍に思う、人とのつながり

認定研修のスーパーバイザーとして、「福岡いのちの電話」にご縁を頂いてから、十数年になります。普段の仕事は、大学の教員です。コロナ禍のこの2年近く、大学も大きく変容を求められました。特に緊急事態宣言の期間、学生は学内に入構禁止となり、静まり返っているキャンパスでは、まるで廃墟に佇んでいるような錯覚にとらわれました。さらに社会全体でも不要不急の外出を控えるようになり、職場の同僚や友人とも直接会えないまま、いつの間にかコミュニケーションはメールやラインなど、文字メッセージが中心になっていました。もちろん授業や会議では、オンラインで会話する機会がありましたが、限られた枠内で仕事上の情報を伝え合うことが目的です。そんな風に社会との接点が切り取られたような日々が続く中、ある日、取り立てて用事があったわけでもないのに、あえて友人に電話をかけたことがあります。そして電話に出た相手の声が聞こえた瞬間、私が求めていたのは、「ああ、この感じ」と心でつぶやいたのを覚えています。それは、今この同じ時間を共にしている相手がいるという確かな実感でした。また互いに近況を伝え合うことばの響きが心にまで届くようで癒されていく自分にも気づきました。私が飢えていたのは、こうした心を通わせる人とのつながりだったのです。

ひとしきり友人と話をした後、携帯電話をしまいながら、ふと「いのちの電話」の相談員の方々が、電話の向こうから届く声に耳を傾けておられる姿を思い浮かべました。電話をかけてこられる通話者の背景はさまざま、語られる内容もそれぞれに異なっています。しかしその多くに共通することとして、心にとらわれている問題を一人で抱えることの困難さを感じておられるようです。スーパービジョンで出会う事例の中には、深刻な状況でこちらも胸が痛むケースや、やりきれない思いを一方的に話される方もいらっしゃいます。また現状を変えたいと願い、その方法を問うてくる方もおられます。しかしそれらのほとんどは、すぐに改善される事柄ではないと思います。それでも電話をかけてこられるのは、解決よりもまずは自分の話を誰かに聴いてもらいたいと願うからでしょう。相談員の方々の声を耳にすることで、通話者は「今、ここで」つながることができている相手の確かな手応えが得られます。人は社会的な存在として、誰かに認められたいという本質的な欲求をもち、つながりあうことで心の安定を得るものです。その期待に応えるべく、自らのお仕事や家事の時間を調整して、「いのちの電話」に足を運んでくださる相談員の方々の存在が、本当にありがたいなとしみじみ思うこの頃です。

オリジナル「支援自販機」を設置していただきありがとうございます。



西部ガス都市開発株式会社様のご支援により、
フィットネス「ファンサンテ飯倉店」
(福岡市城南区飯倉1-4-34)
の駐車場に「支援自販機」を設置して
いただきました。

ご援助ありがとうございます

寄附感謝報告 2021年9月1日～2021年11月30日（敬称略・順不同）

上記の期間に次の方々からご支援を賜りました。感謝をもってご報告させていただきます。

*このご寄附には所得税、県・市民税に関して寄附金控除が適用されます。
また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



千人会			
匿名	10,000	後藤哲也	10,000
田中和子	10,000	梅根真知子	10,000
西川ともゑ	20,000	高岸智也(高岸小児科医院)	10,000
佐藤好史	10,000	安藤 寛((医)あんど小児科医院)	10,000
荒木靖邦(あらきファミリー歯科)	10,000	仲吉則雄(なかよし眼科クリニック)	10,000
中村幸康((医)ひのでクリニック)	10,000	(医)山水会 香椎療養所	10,000
小深田信昭	10,000	聖峰会 マリン病院	10,000
住吉康平(住吉クリニック)	20,000	榎藤説子	10,000
乙藤秀臣	10,000	高宮紘士	10,000
山手誠之助(福岡舞鶴高等学校)	10,000	木上勝征	10,000
成道寺(佐藤隆昭)	10,000	野田尚武	10,000
長通三思	10,000	松崎 隆	10,000
中川哲也	10,000	榊花の子モト	10,000
石蔵富士子	10,000	松原妙子	10,000
大木 實(大木整形・リハビリ医院)	10,000	西岡雄二(照和会 西岡病院)	10,000
井上仁人((医)井上内科医院)	10,000	清水 浩	10,000
山口祐司(福岡浦添クリニック)	10,000	藤見和代(藤見内科医院)	10,000
川原 健	10,000	佐藤 勉	10,000
吉野 正	10,000	(有)吉塚酒店	10,000
梅野英輔((医)梅野小児科内科医院)	10,000	椋島敏雅(弁護士法人 福岡南法律事務所)	10,000
		真正寺	10,000
		榊丸食	10,000
		徳永信子	10,000
		佐野百合子	10,000
		川谷大治(川谷医院)	20,000
		松村端子	10,000
		佐藤文彦	10,000
		榊丸屋	10,000
		杉本 登(杉本歯科医院)	10,000
		高宮義臣((医)高宮外科内科医院)	10,000
		才藤千津子	10,000
		東長寺	10,000
		三木 宏	10,000
		小林恒喜	10,000
		大串秀明((医)大串クリニック)	10,000
		山口 眞(榊丸別荘)	20,000
		穉吉ひろみ	10,000
		匿名	10,000
		川野康之	10,000
		緑川啓一((医)緑川内科・循環器科医院)	10,000
		久保千春	10,000
		杉田俊介(杉田脳神経外科クリニック)	10,000



村岡重弘 (むらおか歯科医院)	10,000
大川紀美子	10,000
岡田修一	10,000
諸岡達也	10,000
神宮純江	10,000
濱 孝明	10,000
松尾慶孝	10,000

賛助会

錦織靖子	3,000
江口祐子	10,000
原田元子	2,000
五斗みち子	5,000
磯辺泰子	3,000

法人会

(株)開聖リアルエステート	30,000
---------------	--------

一般寄附

旗島淑子	10,000
------	--------

森 富士恵	3,000
関根敏子	5,000
野島一彦	30,000
濱生正直	20,000
西区更生保護女性会 (塚本カツ子)	5,000
中央区更生保護女性会 (中田早苗)	5,000
早良区更生保護女性会 (新開映子)	5,000
東区更生保護女性会 (野田フミコ)	5,000
南区更生保護女性会 (服部久美子)	5,000

正田美加	3,000
古賀ブラウズ美穂	30,000
松尾芳子	3,000
石村重哉	5,000
龍 忠史	5,000

匿名	3,000
田中幸彦	3,000

井元 忍	3,900
執行好子	15,000

福岡城東ライオンズクラブ	300,000
--------------	---------

匿名	3,000
----	-------

真鍋順子	30,000
松尾公孝	30,000
藤田宗春	10,000
坂本憲治	10,000
長谷川彰	17,958
福岡平成ロータリークラブ	50,000

コカ・コーラ支援自販機

(財) 恵愛団 (九州大学病院内)	81,175
西部ガスホールディングス(株) (パビヨン24内)	66,030
(有)ダイキ通信工業(自社内)	21,625
南蔵院 (JR城戸南蔵院駅)	40,013
(株)西日本新聞社(本社)	111,846
(株)西日本新聞社(製作センター)	58,034
(株)福岡住宅センター (鳥飼1丁目パーキング)	6,346
福岡県弁護士会 (福岡県弁護士会館内)	5,823

ご寄附は下記の振込先までお願いします

銀行口座：口座名義＝社会福祉法人 福岡いのちの電話
 福岡銀行赤坂門支店 (普) 1147617
 西日本シティ銀行天神支店 (普) 2131458
 郵便口座：福岡いのちの電話 01720-9-1037

千人会 1口1万円/年 (何口でも)
 賛助会 1口2千円/年 (")
 法人会 1口3万円/年 (")

ご面倒をおかけいたしますが、よろしくお願い申し上げます。

税制の優遇措置があります

社会福祉法人の認可を受けておりますので、寄附をされた場合、法人の場合は損金扱いに、個人の場合は年間所得の25%まで寄附控除が受けられるといった、税制上の優遇措置の対象となります。また、福岡市個人市民税の寄附税額控除が受けられます。



INFORMATION

インフォメーション

日誌 2021.9.1~2021.11.30

9月

- 1 第45期生養成講座閉講式
- 4 インターネット相談活動班会
- 6 相談活動運営委員会
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 14 事業ボランティア「手づくり会」(中止)
- 17 受信資料検討班会
- 19~20 電話ボランティア養成サポーター継続研修
(講師：野島一彦氏)
- 22 事務局会議
第6回教育委員会
- 27 連盟統計システム事業委員会
(リモート)
- 28 事業ボランティア「手づくり会」(中止)
- 30 第6回理事会

10月

- 2 自主研修「ケースと私」
(リモート)
- 4 相談活動運営委員会
- 6 第47期生養成講座開講式
- 7 福岡城東ライオンズクラブチャリティゴルフ大会
- 9 社会資源活動班会
研修運営班会
第2回全体研修
(講師：川谷大治氏)
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
- 12 事業ボランティア「手づくり会」
- 20 第47期生養成講座
(講師：太田義隆氏)
第7回教育委員会
- 21 第7回理事会
- 22 受信資料検討班会
- 23 電話ボランティア養成サポーター会班会
- 26 事業ボランティア「手づくり会」

27 事務局会議

会報企画会議

11月

- 1 相談活動運営委員会
- 6 インターネット相談活動班会
- 9 事業ボランティア「手づくり会」
- 10 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」
第47期生養成講座
(講師：山崎一馬氏)
- 11 第8回理事会
- 17 第46期生3ヶ月ミーティング
連盟インターネット相談事業委員会(リモート)
- 24 第47期生養成講座
(講師：長谷川彰氏)
第8回教育委員会
- 26 受信資料検討班会
- 27 社会資源活動班会
研修運営班会
- 30 事業ボランティア「手づくり会」

【編集後記】

今年、初詣の人々の願い事の多くは、パンデミックの終息をベースにした家内安全であり、無病息災であり、学業成就であろうことは想像に難くありません。善良な老若男女の熱心で切実な祈りや願いに対し、神や仏は何か答えや返事をくれたのでしょうか。

遠藤周作の代表作で(半世紀前には篠田正浩、数年前にはマーティン・スコセッシ監督の同名映画もありますが)キリスト教徒の殉教や棄教をテーマにした『沈黙』で描かれたように、残虐な弾圧に絶望する長崎の潜伏キリシタンたちの、踏絵を前に命を賭した祈りや命乞いの哀願に対し、神は何も答えてくれません。理不尽で残酷な状況に置かれた純朴なキリシタンたちを前に、何ら手を差し伸べることなくただ沈黙する神……。

祈りを捧げるために長時間黙々と列をなす初詣の人々は、神や仏が自分たちに何も答えてくれないことは知っています。しかし、どんなに自分勝手な祈りの内容でも、どんなに難しい願い事であっても、神や仏はただ黙って聞いてくれ受け入れてくれることを人々は暗黙のうちに理解しています。

私たちの電話相談を、神仏への祈りに例えるような不遜な発想は毛頭ありませんが、具体的なアドバイスや解決策はそもそも必要ではなく、ただ聴いて受けとめるといふ「暗黙の約束」こそが、優しく寄り添うことへの第一歩なのだと改めて思う新年です。

(I. H.)

電話受付件数

2021年9月~2021年11月

受付件数 3,488件

延べ相談員数 968人

延べ受信時間 117,521分

発行所

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
社会福祉法人 福岡いのちの電話

TEL (092)713-4343・FAX (092)721-4343

ホームページアドレス
<http://www.f-inochi.org/>

発行人 久保 千春
編集人 古賀 俊次



この「会報」は共同募金の配分金で作成しています。